

平成30年度

第2回永明公民館運営推進委員会

日 時：平成31年3月5日（火）
午前10時より

場 所：永明公民館 第一会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶（委員長）

3 議 題（議長：委員長、説明：公民館長）

（1）平成30年度永明公民館事業報告について

（2）平成31年度永明公民館運営方針について

（3）その他

4 閉 会

永明公民館運営推進委員会名簿

(任期 平成29年7月1日～平成31年6月30日)

No.	役職	氏名	役職名	備考
1	委員	福島 茂直	木瀬中学校長	
2	委員	湯澤 和美	青少年健全育成会会長	
3	委員	関根 宏一	社会福祉協議会会長	
4	委員	小成田 邦郎	公民館利用グループ連絡協議会会長	
5	委員	木村 公子	更生保護女性会永明支部長	
6	委員	栗林 和子	食生活改善推進員会会長	
7	委員	関口 清治	自治会連合会会長	委員長
8	委員	島田 剛志	民生児童委員協議会会長	
9	委員	深谷 茂	生涯学習奨励員連絡会会長	副委員長
10	委員	田代 典子	保健推進員会会長	

平成30年度 永明公民館事業報告

子育て、親子支援に関する仕掛け

●えいめい・きょうあい子育てひろば

(1) ねらい

- ①インターネット等による情報があふれる今日、子育てに本当に必要なことは何かを考える。
- ②ストレスや不安の原因を考え、対処方法を知る。
- ③参加者どうしの交流の中で悩みや知恵を共有する。
- ④地域での仲間作りを図る。

(2) 概要

平成20年度に始まった共愛学園前橋国際大学との共催事業で、講師および託児者の手配は大学が行い、周知や募集を公民館が行った。人権および男女共同参画に関する内容を含む。

対象：就学前の子を持つ保護者

在籍者数：22名 延べ出席者数：112人、託児115人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/6(水) 10:15~11:45	ひとりでがんばって いませんか? ～肩の力をぬいて、子育てと 母親という立場を考えます～	講義 グループ ワーク	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	19 託児有り
2	6/13(水) 10:15~11:45	ココロとカラダからの メッセージを感じよう ～ストレスを 抱えすぎないために～			20 託児有り
3	6/20(水) 10:15~11:45	自分の体、 いたわってますか? ～子育てで疲れた体への 思いやりストレッチ～	実技	AFAA認定アエロビクス インストラクター 下田 博美	14 託児有り
4	6/27(水) 10:15~11:45	子育てはだれがする? ～女性・男性みんなでやると、 どう変わる～	講義 グループ ワーク	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員 前田 由美子	18 託児有り
5	7/4(水) 10:15~11:45	子どもの人権 ～尊重するってどうすること? わがままとはどうかう?～			19 託児有り
6	7/11(水) 10:15~11:45	子どものころ・親のころ ～どうしたら通じ合う?～			22 託児有り

(4) 評価と反省

子育てを取り巻く様々な環境や子どもの発達について学ぶことで、ストレ

スやイライラの原因に気付き、また、子どもと離れて冷静に考えることで今まで気付かなかった自分の気持ちや、他の人も同じ悩みを抱えていることを知り、ホッとするとともに対処方法を学ぶことができたようだ。

グループワークは、大人どうしの会話を楽しむ交流の場でもあり、自分の時間を大切にすることが、穏やかな心で子どもに接することにつながることを実感できた。アンケートにはたくさんの感想が寄せられ、多くの母親が子育てに前向きになれたことが伺えた。

専門的な内容を含みつつ、母親の心に寄り添った本講座は、満足度が大変高いことから今後も継続していきたい。



講師の話に聞き入る受講者



温かいお茶を飲みながらグループワーク

●永明すくすく子育て教室

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②育児に追われる親のリフレッシュの機会とする。
- ③子育てについて学ぶ機会とする。
- ④親どうしや地域の人との交流を通じて孤立する親の解消につなげる。
- ⑤公開講座を土曜日に開催することにより家族で子どもとふれあい、母親以外の育児参画を図る。
- ⑥公開講座を効果的に実施するため、城南公民館と共催で実施する。

(2) 概要

<第1回～第5回>

対象：1歳～3歳の子と保護者

在籍者数：18組 延べ出席者数：親63人、子65人

第4回の「ヨガ&ピラティス」は部屋の都合で2回に分けて実施。

託児を永明地区保健推進員とつゆくさの会（ボランティア団体）に依頼

<公開講座>城南公民館と共催で土曜日に実施

対象：未就学児と家族

在籍者数：13組（親18人、子ども17人）

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/ 3(水) 10:00～11:30	はじめまして！ ～みんなで遊ぼう～	実技 講義	幼児教育アドバイザー 今井 寿美枝	15組
2	10/10(水) 10:00～11:30	こどもが喜ぶ折紙あそび	実技	つゆくさの会 (公民館学習グループ・ボラ ンティア団体)	13組
3	10/24(水) 10:00～11:30	癒しの音色♪ウクレレ体 験教室 ウクレレに合わせてみん なで合唱	実技	ウクレレ♪ママさんズ(公 民館学習グループ会員3名) 三ツ葉楽器㈱代表取締役 社長 大澤 茂	11人 託児有り
4	11/7(水) 11/21(水) 10:00～11:30	ヨガ&ピラティス	実技	全日本ヨガ協会認定講師 豊森 英子	13人 託児有り
5	11/28(水) 10:00～11:30	子育て井戸端会議 親子遊び	講義 実技	幼児教育アドバイザー 井上 昭子	11人 託児有り 11組
公開 講座	10/20(土) 10:00～11:30	♪ファミリーで enjoy♪ ギター演奏で親子ふれあ い遊びと絵本読み聞かせ	実技	群馬医療福祉大学准教授 田中 輝幸	13組

(4) 評価と反省

親子ふれあい、学び、リフレッシュのバランスを考慮し企画した。第3回と5回は後半に親子と一緒に過ごす時間を設け、ふれあいを増やす工夫をした。

第1回と5回は幼児教育センターと連携、第2回～4回は地元講師や学習グループ会員を講師とし学びの循環を図り、地元産のウクレレも取り入れた。

また、託児ボランティアと親子が信頼し合えるよう初回にボランティア数名に遊びに加わってもらい、講師には託児による子どもの成長について話してもらった。第2回は託児を行うつゆくさの会会員が折り紙遊びを指導した。事前に交流を図ることで母親は安心して子どもを預けることができたように思う。

土曜日実施の公開講座に父親4名の参加があった。より多くの参加を得ることが今後の課題となる。城南公民館と共催することでPR等が効果的にできた。

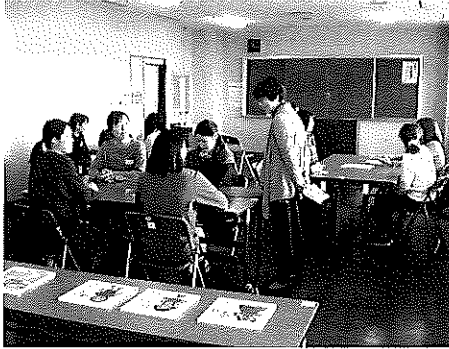
部屋の広さを考慮し定員を設けたが、体調不良等での欠席が多く、次年度は、対象年齢や定員等を再度検討し、継続して実施したい。



第2回 折り紙を教えてもらう親子



第3回 ウクレレにあわせてみんなで合唱



第5回 子育て井戸端会議の様子



公開講座の様子

●親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP)
桂萱・永明・城南公民館合同開催

(1) ねらい

①親子ふれあい

第1子の子を持つ母親を対象に開催することで、同じ子育て環境にある親子の交流、情報交換の場とする。

②学び(子育て)

育児に対する不安を軽減し、乳児期の育児についての必要な知識を学ぶ。

(2) 概要

対象：前橋市内在住の第1子（H30月3日7日～7月6日生まれ）を育てている母親とその子ども

在籍者数：9組 延べ出席者数：34組

募集方法：公民館報、チラシ配布、市HP・FB、赤ちゃん訪問の際に勧誘

開催場所：桂萱公民館

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	組数
1	9/6 (木) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て支 援課 BP ファシリ テーター 池田 亜美 萩原麻菜美	9
2	9/13 (木) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生 活 ・赤ちゃんの生活リズム			8
3	9/20 (木) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			9
4	9/27 (木) 10:00~12: 00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切			8

(4) 評価と反省

参加人数は定員に満たなかったが、少ない人数のおかげで参加者同士密度の濃い交流ができたと思われる。初回は、緊張していた参加者も徐々に会話が弾むようになり、プログラム終了後には輪になって雑談する様子が見られた。

アンケートでは「子育ては完璧でなくても良いということが分かった」という声が多かった。プログラムに参加することで、近い月齢の子を持つ母親同士の交流が促進され、不安や悩みが軽減されるきっかけとなっているようだ。引き続き次年度も継続して開催していきたい。



隣同士で自己紹介をしている様子



発表している様子

●子育てママの防犯ミニ講座（予定）

(1) ねらい

①子どもや女性が巻き込まれる犯罪が後を絶たない今日、子育て中の親や子育てを支援する人の防犯意識の向上を図る。

②子育て支援センター共愛および市男女共同参画室と連携し、効果的に実施する。

(2) 概要

対象：乳幼児（入園前）を持つ母親およびその家族（祖父母を含む）

主任児童委員等、地域で子育て支援に関わる団体の会員

参加者：（ ）組

子育て支援センター共愛が、毎月1回開催している「永明公民館で遊ぼう！」の中で実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	3/19 (火) 10:30~11:00	女性と幼い子どもを犯罪から守るためにできること	講義	前橋市男女共同参画室職員	

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け

●子ども夏休みステーション

(1) ねらい

- ①夏休み中に、学校区や学年が違う子どもたちが集まる機会を設け、地域の子ども達の仲間づくりを図る。
- ②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。また、プログラミング体験を通じ、論理的思考・アイデア実現力等の向上を図る。
- ③公民館利用団体や地域の団体を講師にすることで知の循環を図る。また、地元企業やNPOを講師にすることで、地域資源の活用を図る。
- ④おはなし会開催時に、停本所の「こわい本」を貸し出しする事で、停本所の利用促進や読書普及を図る。
- ⑤間伐体験や食育を通じ、親子で自然や食に関して考える機会とする。

(2) 概要

前橋市内在住の小学生（及び保護者）を対象に実施。

延べ出席者数：303人（開設日 夏休み中の10日間）

(3) 内容

こども料理教室 出席者数：50人

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	7/26(木) 9:30~12:30	2種類のロールサンド、こんにゃく入りベジタブルスープ、ミルクかん	1~2	実習	永明地区食生活改善推進委員会	26
2	8/2(木) 9:30~12:30		3~6			24

わくわく体験教室 出席者数：140人

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	7/30(月) 9:30~11:30	夏休みサイエンス調査隊 ～サイエンスでマジック～		実習	NPO教育支援協会 北関東	32
2	8/20(月) 19:00~20:15	夜のこわいおはなし会 ～夜の公民館でこわ～いおはなしはいかが？～	1~6		駒形読み聞かせの会	77
3	7/27(金) 10:00~11:30	プログラミング体験教室 (1~3年生)	1~3	実習	(株)ジーシーシー スタッフ	15
4	8/22(水) 10:00~11:30	プログラミング体験教室 (4~6年生)	4~6	実習		16

こども環境教室

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	8/1(水) 9:00~16:00	憩の森で自然観察と間伐体験 をしよう！	1~6 親子	実習	ぐんま緑のインター プリター協会 顧問 亀井 健一	2 2

宿題おたすけ教室 出席者数：65人

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習内容	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	8/7(火) 9:30~11:30	夏休みの宿題を仕上げよう 絵画・ポスター① 下書き		1~6	実習	永明水彩画クラブ	3 3
2	8/8(水) 9:30~11:30	夏休みの宿題を仕上げよう 絵画・ポスター② 色ぬり					3 2

親子の食育教室

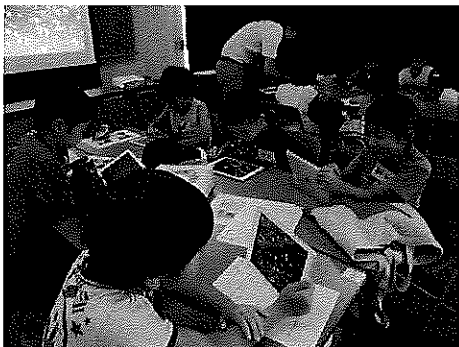
回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	8/23(木) 9:30~12:30	ごはん、スープカレー、食物せ んいたっぷりかみかみおかずサ ラダ、白玉ぜんざい	1~6 親子	実習	永明地区食生活改善 推進員会	2 6



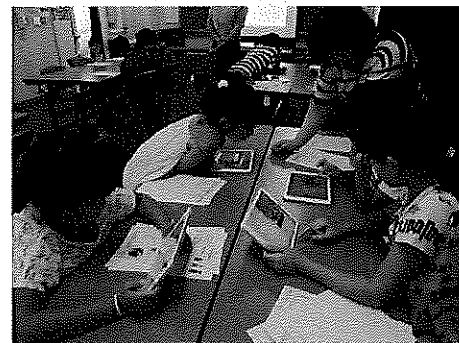
こども料理教室



サイエンス調査隊



プログラミング体験教室（1~3年）



プログラミング体験教室（4~6年）



環境教室



宿題おたすけ教室・絵画

(4) 評価と反省

教室の企画については、参加者からのアンケート結果を反映しつつ、講師は全て、地域の方や団体・企業へ依頼している。

今年は初めて、地元企業であるGCCにプログラミング体験教室の講師を依頼。子供や保護者からの関心が高く、定員の3倍近い申し込みがあった。実際に参加した子ども達からも好評で、アンケート結果では「とても良かった」と回答した児童が100%となった。

また、停本所の利用促進や読書普及をねらいとした「こわいおはなし会」を今年も開催。2回目となる今年は、昨年を上回る参加者数となり、同時に行ったこわい本の貸し出しも好評で、その後も停本所のリピーターとなっている。

また、永明水彩画クラブや駒形読み聞かせの会など、自主学習グループで活動している方や地域団体の方に指導いただくことで、学習成果を地域へ還元する機会を提供する事ができ、また、地域間の世代間交流の場ともなっている。

●子ども冬休みステーション

(1) ねらい

- ①学校や学年が違う子供達の交流や地域における世代間の交流を図る。
- ②地域の企業を見学することで、地域資源を再認識するとともに、リサイクルについて体験・学習する機会とする。
- ③季節感のある体験学習を通して、伝統文化についての理解を深める。

(2) 概要

前橋市内在住の小学生（及び保護者）を対象に実施。

延べ出席者数 35人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	12/25(火) 10:00~12:00	リサイクル工場見学	1~6	実習	株式会社ナカダイ駒形工場 モノ：ファクトリー	11
2	12/26(水) 9:30~11:30	こども書初め教室	3~6		永明ペン字クラブ 勅使川原 葉子 他13名	24



工場見学（ワークショップ）



こども書初め教室

(4) 評価と反省

地区内にある、産業廃棄物中間処理業ナカダイ駒形工場への見学。地域資源を再認識する機会として実施した。アンケート結果を見ると、保護者を含めたほぼ全員の参加者がナカダイ駒形工場を「知らなかった」と回答。「リサイクル工場ということを知らなかった」「楽しかった。勉強になった」「発泡スチロールがあんなにカチコチになるなんてとてもびっくりした」などの声が聞かれ、リサイクルについて楽しく学べたようである。

書初め教室は、自主学习グループで活動している方が指導することで、地域の世代間交流を図ることが出来ている。今年で5年目となるが、講師が子ども達一人ひとりに文字の添削をしてくれることで、毎年人気の教室である。

今年は永明ペン字クラブの方全員で指導補助にあたっていただけただけのため、より深い指導と円滑な教室運営につながった。

●春の子どもステーション

(1) ねらい

- ①学校や学年が違う子どもたちの交流を図る。
- ②地域ブランドである「梨」を食材に利用することで、食と健康についての知識を学ぶだけでなく、地域の特産物を再認識する機会とする。
- ③地域における世代間の交流を図る。

(2) 概要

前橋市内在住の小学生（及び保護者）を対象に実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	2/23(土) 9:30~12:30	親子で作ろう！さくさくクッキーと梨のつぶつぶゼリー	1~6	実習	永明地区食生活改善推進員会	27

(4) 評価と反省

今回の食材は、地域の特産物である「梨」を初めて使用。保護者からのアンケート結果を見ると「どんな梨料理があるのかわからないので色々知りたいです」「今後も梨料理を教えてください」など、梨料理のニーズがあることが分かった。子どもたちからも「また参加したい」「料理に興味を持ちました」など好評であったため、今後も梨を食材にした教室を検討していきたい。

今回も、地域で活躍する指導者からお菓子づくりを親子で学ぶことで、世代間交流を図ることができた。

●永明生涯まなび塾

(1) ねらい

- ①高齢者が、生きがいのある毎日を過ごすため、仲間づくりの機会の提供および生涯学習の啓発。

②健康増進（健康寿命の増進）のための学習機会の提供。

(2) 概要

対象者 市内在住の概ね60歳以上の人

開催場所 永明公民館

在籍者数：11人

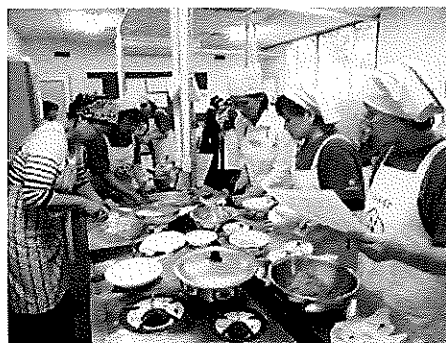
(3) 内容

10/11(木) 9:30~12:10	【食育・料理実習】 「しっかり噛んで長寿！」 メニュー・ごはん、かむかむ 和風ミートローフ、切り干し 大根のサラダ、みぞれ汁、ミ ルクくず餅	講話 実習	永明地区 食生活改善推進員	11
------------------------	---	----------	------------------	----

(4) 評価と反省

永明生涯まなび塾は、昨年まで、永明シニア元気塾という名前で実施していたものを永老連会長と相談して名称変更したもの。

例年、老人クラブに広報を依頼していたが、今回は館報のみで募集を行った。しかし、申し込みがあまりに少ない為、やむなく講師に参加者を集めていただき、なんとか開催できる人数を集めることが出来た。講座内容としては、高齢者の健康を考慮した内容で良いと思われ、また、参加者からのアンケート結果も評価が高かった。次年度は、広報の方法や募集方法を検討しなおし、地域の方々の学びに繋がる講座を企画したい。



(料理実習風景)

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け

●ウクレレ体験講座

(1) ねらい

- ①製造量日本一を誇るウクレレ製造会社が地区内に存立することから、地域の産業を活用した講座を実施する。
- ②子どもの頃から、地元産のウクレレに親しみ興味を持ってもらう。
- ③ウクレレを通して、子どもどうし、また、地域の人や企業との交流を図る。
- ④自主学習グループの構成員に講師を依頼することで、学んだことの地域還元と地元講師の育成を図る。

⑤小中学生を持つ親を講師とすることで、子どもを含めた自主的な活動への発展を期待する。

(2) 概要

「こどもウクレレ教室」は夏休みの体験学習として実施した。

対象：市内在住の小学生・中学生

出席者：23名（小学生22名、中学生1名）

講座用のウクレレは、三ツ葉楽器（株）より借用した。

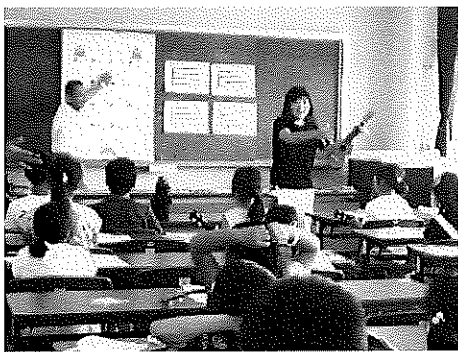
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/10（金） 9:30～11:30	こどもウクレレ教室 ～ウクレレを 弾いてみよう！～ ・楽器の説明、持ち方 ・弾き方、コードの練習	実習	ウクレレ♪ママさんズ（公民館学習グループ会員2名） 三ツ葉楽器（株）代表取締役社長 大澤 茂	23

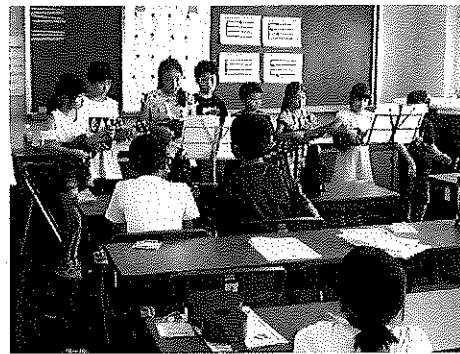
(4) 評価と反省

「こどもウクレレ教室」は3年目となり、永明公民館の講座として定着してきた。ウクレレを通して学年、学校を超えた子どもどうしの交流、地元講師、企業との交流が図れた。また、学習グループ会員を講師とすることで学びの還元、地元講師の育成に努めた。

小中学生の子どもを持つウクレレママさんズは、子どもの上達状況に応じて楽しめるよう、またウクレレを弾く手が疲れないよう、様々な工夫を凝らし楽しく指導してくれた。グループ化には至らなかったが、アンケート結果も概ね好評で、毎年楽しみにしている子どももいることから、次年度も継続して実施したい。



講座の様子



演奏する様子

●古文書から学ぶ昔の暮らし

(1) ねらい

- ①公民館、地域住民、大学が連携し、貴重な歴史資料を保存する。
- ②古文書を保存・解読したいという地域の要望に応える。
- ③古文書の取扱や整理、保存の方法を学ぶ。
- ④地域住民の自主的な歴史資料の保存や解読の活動につなげる。

⑤郷土の歴史を学び興味を深めることで、郷土への愛着を深める。

(2) 概要

共愛学園前橋国際大学と連携し、地区内で発見された江戸時代の古文書を活用して初心者向けの講座を開催した。昼間、仕事をしている人等も参加できるように夜間の開催とした。

対象：原則として市内在住・在勤・在学の一般市民

在籍者：28名 延べ出席者数：49名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/25(火) 18:00~20:00	・地域に残る古文書の重要性と保存について ・古文書の解読(入門)と時代背景 ・質問	講義	共愛学園前橋国際大学准教授・地域共生研究センター長 野口 華世	27
2	10/2(火) 18:00~20:00	・前回の復習 ・古文書の解読(入門)と時代背景(続き) ・まとめ、質問	講義		22

(4) 評価と反省

東上野町自治会より古文書が多数見つかったため、整理して後世に残したいとの相談から、東上野町住民、近隣の大学と連携して平成28年度から継続して講座を実施している。

難解な古文書も歴史的な事件と当時の生活を結び付ける等の講師の工夫により、地域住民と一緒に楽しく郷土の歴史に興味を深めることができた。

講座がきっかけで始まった整理、保存作業は大学の共同研究に採択され、講座は研究成果を地域住民に還元する場にもなった。また、最近では、大学生のゼミや高校生部の活動の場としても活用され、群馬県立文書館職員も指導に訪れるなど、幅広い年代の人々が東上野町公民館で保存活動に関わっている。

公民館の講座をとおして、歴史資料を保存したいという地域の要望に応えるとともに、様々な交流が生まれることとなった。

今後も、地元の歴史資源を活用した講座を継続し、自主的な活動につながるよう支援をしていきたい。



講座の風景



高校生、大学生と一緒に活動する様子

●パソコンはじめて(すてっぷあっぷ)講座

(1) ねらい

- ①得た学びを地域活動（自治会活動など）に還元する。
- ②学びの中で学生との世代間交流を図る。
- ③事業効果をより一層高めるため永明公民館・城南公民館・共愛学園前橋国際大学が連携して取り組む。

(2) 概 要

9月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」 在籍者数：18人

対象：市内在住の方、「パソコンはじめて講座」を受講した方又はローマ字入力ができる方

2月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」 在籍者数：18人

対象：前橋市内在住の方、「パソコンはじめて講座」を受講した方又はローマ字入力ができる方

開催場所：共愛学園前橋国際大学

(3) 内 容・学習時間

9月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」 午前10時～正午

回	月日	学習主題・内容・方法等	講師	人数
1	9/10(月)	Wordを利用した	共愛学園前橋国際大学 国際社会学部 学生5人	18
2	9/11(火)	はがきの宛名面の作成①		18
3	9/12(水)	はがきの宛名面の作成②		18
4	9/13(木)	はがきの文面作成		18
5	9/14(金)	はがきの印刷		18

2月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」 午前9時半～正午

回	月日	学習主題・内容・方法等	講師	人数
1	2/18(月)	Wordを利用した	共愛学園前橋国際大学 国際社会学部 学生5人	20
2	2/19(火)	はがきの宛名面の作成①		20
3	2/20(水)	はがきの宛名面の作成②		20
4	2/22(金)	はがきの文面作成		20

(4) 評価と反省

今回は昨年のパソコンすてっぷあっぷ講座が好評だったため、9月、2月共に同講座を開催した。受講者により学習の習得に差はあったが、学生ボランティアのサポートにより一人も遅れることなく全スケジュールを予定どおり学習することができた。学生と地域住民が交流できる良い機会にもなっている。

受講者の満足度も高く、地元大学の協力も得て実施している講座であるため、大きな反省点はない。今後もより良い講座となるように大学の担当者と検討していきたい。



地域の人材をつなぐ仕掛け（自主学习グループ・奨励員活動支援）

●公民館利用グループ連絡協議会研修会

(1) ねらい

- ①永明公民館利用グループ間の交流促進と活性化。
- ②社会貢献活動への理解促進。
- ③公民館活動への理解促進。
- ④健康寿命の延伸。

(2) 概 要

対象者は永明公民館利用グループ連絡協議会員及び地域住民として実施。

(3) 内 容

回	日時・会場	学習内容	学習方法	講師等（敬称略）	人数
1	4/16(月) 14:45～15:45	上野三碑から読む古人の 想い	講話	自主学习グループ 「歴史の浪漫」 講師 大野 治 夫	124
2	2/18(月) 14:00～15:30	ラフターヨガで心身共に 健康に	実習	群馬ラフターヨガクラブ 代表 女 屋 かほる	61
3	2月 (1ヶ月間)	サークルの見学・体験	自由 学習	各グループによる	

(4) 評価と反省

第1回研修会は、自主学习グループ連絡協議会に所属する会の講師に依頼し開催した。講師も永明地区ではないが、この近隣に在住しており、講師選定についてはグループ連協役員の声を取り入れた。上野三碑が世界遺産に認定されたことから地域住民の関心も高かったようで、日頃顔を合わすことのない、学習グループ会員と地域住民と一緒に学ぶ良い機会となった。また、第2回は、群馬ラフターヨガクラブ代表の女屋かほる先生を講師に迎え、ラフターヨガの学習を実施した。

グループ連協行事として、2月に「サークル見学・体験月間」を16グループの参加で開催。担当者は、主に広報支援を行い、ホームページでの紹介及び回覧チラシの作成、回覧を行った。



(第1回 上野三碑と古人の想い)



(サークル見学・体験月間)

●生涯学習奨励員研修会

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員の資質向上を図る。
- ②自治会との連携強化を図る。
- ③地域の生涯学習活動の活性化を図る。

(2) 概要

対象者 地区内13自治会の生涯学習奨励員・自治会長

開催場所 永明公民館、野外学習（高崎市方面）

(3) 内容

回	月日・時間	学習内容	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	5/29(火) 14:00～15:40	「上毛かるた」と「群馬の歌」 7曲	講義	前橋学 センター長 手島 仁	20
2	9/21(金) 9:30～15:00	野外学習 「上野三碑を巡る」 金井沢碑・山上碑・多胡碑 ・多胡碑記念館	見学	郷土史家 井田安雄	26

(4) 評価と反省

第1回は、群馬県に県民愛唱歌がないことの原因に「上毛かるた」があることをあげ、「群馬県の歌」7曲の、それぞれの制作過程や時代背景等を織り交ぜながら、どうして愛唱歌とならなかったのかについて考察した内容であった。また、他県の愛唱歌と比較しながら、実際に群馬県の歌や他県の愛唱歌を歌うことで、楽しく郷土前橋のことについて学べる講座内容であった。アンケート結果からも、「群馬県の歌がぜひとも欲しいと思いました」「群馬県、前橋のことが良くわかった」といった内容がみられ、「群馬県の歌」の歌詞を学ぶ事で、郷土について学ぶ機会になったと思われる。

第2回は、世界の記憶遺産に認定された「上野三碑」の見学を行った。雨天であったが、特に事故等無く研修を終えることが出来た。反省点としては、

山上碑が高所にあり見学のためには約180段の階段を昇る必要があったことから、3人が階段を昇れず見学することが出来なかった。今回の研修は参加者が高齢であるため、見学先は体力面を考慮して選定する必要がある。また、日程を1日で組んでいるが、今後の見学先によっては、半日程度で日程を組み参加者負担を軽減する必要があると感じた。

アンケート結果からも、「研修が非常に役立った。」「レベルの高い講座で良かった。等の意見が聞かれ、今後の奨励員活動の一助になることを期待したい。



(第1回 講義)



(第2回 野外学習)

●情報提供事業

(1) 「館報えいめい」の発行

①公民館主催事業、地区内各種団体行事のお知らせ及び結果報告、行政からののお知らせ等を掲載し、毎月15日に発行している。

②A4版2ページ両面印刷で地区内全戸配付(約9,200部/月)している。

(2) ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に公民館報をはじめ各種事業紹介のページを展開している。また、フェイスブックへの掲載は、随時行っている。

(3) 各町自治会会報の展示及び交換

天川大島本町・天川大島原町・野中町・上長磯町・下長磯町・女屋町・東上野町・小島田町・駒形町・小屋原町(管外)の各町で作成している会報を公民館内に展示するとともに、各町会報の交換を行っている。

(4) 団体等の印刷物の展示等

公民館利用グループ連絡協議会会報など、随時展示を行っている。

(5) 短歌・俳句交流の広場発行

A4版2ページ両面印刷で毎月15日に発行し、地区内回覧を行っている。

短歌・俳句および、写真・絵手紙等は公民館利用グループの作品を主に掲載し、地区内投稿者の短歌等作品も掲載している。

●協力支援事業

(1) 社会体育事業他への協力・援助

主催	月日	事業内容等	参加対象等	人数	会場
各実施委員会	5/13 (日)	第34回のびゆくこどものつどい 第21回ふれあいの広場	地区住民 中学生ボランティア	(住民) 1,700 (学ボラ) 186	永明公民館 木瀬中学校 運動場
	10/14 (日)	第46回地区市民運動会	地区住民	2,000	木瀬中学校 運動場
	11/3・4 (土日)	第39回地区文化祭	地区住民	3,000	永明公民館
子ども会育成団体 連絡協議会	6/10 (日)	第43回子ども会卓球大会	小学生4年～6年	72	永明小学校 体育館
	9/9 (日)	第31回親子スマイルボウリング大会	小学生4年～6年と 保護者	110	永明小学校 体育館
	1/6 (日)	第38回子ども会上毛かるた大会	小学生1年～6年	253	永明小学校 体育館
体育協会	5/27 (日)	第40回ソフトボール大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	300	桃ノ木川 グラウンド
	7/1 (日)	軽スポーツ体験講習会	地区成人男女	50	勤労福祉 センター 体育館
	11/25 (日)	第40回卓球大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	250	木瀬中学校 体育館
	2/24 (日)	第13回ソフトバレーボール大会	18歳以上の地区住民 (高校生は除く)	250	木瀬中学校 体育館
他	11/3 (土)	永明地区 青少年を明るく育てる集い (地区別会議)	地区住民	234	永明公民館 多目的ホール
	12/15 (土)	親子そば打ち体験教室 (青少年育成推進員会)	小学生～中学生 と保護者	11	永明公民館

(2) 社会福祉協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	人数	会場
11/18 (日)	ふれあい交流会	社協役員・ 身障者等	90	原町自治会館
11/22 (木)	研修視察	社協会員	96	安曇野市役所

(3) 地域づくり協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	人数	会場
5/13 (日)	炊き出し訓練 (のびゆく)	イベント参加者	協力者 34人	永明公民館
8/28 (火)	防災講座	地域住民	35人	永明公民館
9/1 (土)	ボウリング大会	地域住民	120人	地区内ボウリング場
10/19(金)	健康づくり講座	地域住民	35人	永明公民館
11/3 (土)	炊き出し・防災訓練 (文化祭)	イベント参加者	協力者 34人	永明公民館
12/2 (日)	健康ウォーキング大会	地域住民	216人	永明地区内コース
2/17 (日)	地域づくり推進大会	地域住民	85人	永明公民館

(4) 団体育成

自主学習グループへの援助と協力 (38団体)

(5) 子ども会育成指導者・インリーダー研修

(1) ねらい

子ども会活動をより充実させるため、子ども会インリーダー・子ども会育成指導者を養成し資質の向上を図る。

(2) 概要

地区子ども会員、子ども会育成会役員を対象にインリーダー講習会・指導者養成を実施。参加者延人数：子ども34名、大人35名

(3) 内容

【子ども会指導者講習会】

月日・時間	学習主題・内容	講師・協力者 (敬称略)	人数	会場
6/23 (土) 14:00~16:00	リーダーキャンプ講習会 (事前講習会)	市子育連役員	(子ども) 34	永明公民館
7/1 (日) 8:00~16:00	リーダーキャンプ講習会 (実技等講習会)	市子育連役員	中止	国立赤城青少年交流の家

【子ども会育成指導者講習会】

月日	事業内容	講師・協力者 (敬称略)	人数	会場
5/28 (月) 19:00~21:00	初級指導者講習会	市子育連役員	(大人) 68	永明公民館
6/4 (月) 19:30~21:30	卓球審判講習会	永明卓球クラブ 矢島 一紀	(大人) 54	永明公民館

6/24 (土) 14:00~16:00	リーダーキャンプ講習会 事前講習会	市子育連役員	(大人) 35	永明公民館
9/ 3 (月) 19:00~21:00	スマイルボウリング審判 講習会	スポーツ推進委員 栗本 直樹	(大人) 55	永明公民館
11/26 (月) 19:00~21:00	上毛かるた審判講習会	田代 光夫 女屋 芳幸	(大人) 109	永明公民館

名所・旧跡

刑場跡供養塔(天川大島町)
 百体観音(上大島町)
 義経の腰掛石(下長磯町)
 お上人の大塚(下長磯町)
 小島田の阿弥陀様(小島田町)
 牛頭天王の獅子頭(駒形町)
 梨昌翁の顕彰(下大島町)など



刑場跡供養塔



百体観音



牛頭天王の獅子頭

梨昌翁の顕彰碑

教育・文化

永明小学校合唱団
 (TBS合唱コンクール
 東日本大会出場)



【ウクレレを活かした社会教育】



夏休み中の子どもウクレレ教室

【共愛学園国際大学との連携】

子育て・親子支援事業(永明・共愛子育て広場)
 初級パソコン講座
 文化祭(模擬店・舞台)



【伝統文化の継承】



下長磯操翁式三番要(県指定無形文化財)

永明地区の地域資源

永明地区の概要

13自治会	天川大島町本町、天川大島町原町、天川大島町住宅、野中町、上大島町、上長磯町、下長磯町、女屋町、東上野町、小島田町、駒形町、下大島町、下大島西団地
面積	永明地区 10,268.0 km ² ※市全体 311,585.7 km ²
永明地区	人口総数 21,884人 世帯数 8,859戸 年少人口(14歳以下) 2,728人 生産年齢(15-64歳) 13,776人 老年(65歳以上) 5,207人
H24.3.31	人口総数 22,495人 世帯数 9,836戸 年少人口(14歳以下) 2,910人 生産年齢(15-64歳) 13,200人 老年(65歳以上) 6,385人
H30.3.31	人口総数 21,884人 世帯数 8,859戸 年少人口(14歳以下) 2,728人 生産年齢(15-64歳) 13,776人 老年(65歳以上) 5,207人
推移	人口総数 611人 世帯数 979戸 年少人口(14歳以下) 182人 生産年齢(15-64歳) -576人 老年(65歳以上) 1,178人
推移率	人口総数 2.8% 世帯数 11.1% 年少人口(14歳以下) 6.7% 生産年齢(15-64歳) -4.2% 老年(65歳以上) 22.6%

永明地区防災マップより
 抜粋(地域づくり協議会)



交通網

【JR 両毛線】
 前橋大島駅(天川大島町)
 駒形駅(小屋原町)
 【北関東自動車道】
 駒形インターチェンジ(駒形町)
 【主要地方道】
 国道50号線(天川大島町~小島田町)
 前橋館林線(天川大島町~駒形町)
 藤岡大胡線(小島田町~駒形町)

地域づくり協議会

【総務広報部会】 地域づくり推進大会開催
 【安心安全部会】 防災講座 LPガスバルク炊き出し訓練
 【健康づくり部会】 健康ウォーキング大会 健康づくり講座
 【世代間交流部会】 世代間交流ボーリング大会、家族料理教室



地域ブランド

赤城の恵「大島梨」の栽培と直売
 ウクレレの国内シェア約70%
 娯楽サービス業...複合遊戯場・パチンコ店・日帰り温泉施設



大島梨の栽培



ウクレレ生産



清酒醸造元



情報通信産業

地域の特性

製造業

事業所数 145社 (第1位)
 従業者数 2,714人 (第2位)
 事業所数 9社 (第5位)
 従業者数 835人 (第1位)
 事業所数 88社 (第7位)
 従業者数 830人 (第2位)

※経済センサス(H26.7.1現在)より

情報通信業

娯楽サービス

永明地区は、梨畑など豊かな農業地帯に隣接して、古くからの木工団地と、新たな娯楽サービス業が併存する。最近では、工場用地から住宅地へと変化し、定住人口が増加している。農業・工業・サービス業など、町ごとに特色が大きく異なる地域。

永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン2019（願い・思い編）

①. みんなで子育てするまち＝子どもがすくすく育つまち

- ・ふれあいを通してより良い親子関係を築く
- ・公民館の講座や地域事業を通して子育ての悩みや不安が解消される
- ・親どうし、子どもどうしの仲間づくりが進む
- ・お父さんが子育てに関わる機会が増える
- ・母親と子どもの人権が尊重される
- ・穏やかな心で子どもに接することで、虐待が無くなる
- ・地域みんなですべての子育てを応援するという意識が高まる
- ・安心して子育てができるまちになる



②. 青少年が明るく元気に育つまち

- ・「のびゆくこどものつどい」で体験の場を提供する
- ・「子どもを明るく育てる地区別会議」を充実させる
- ・公民館講座の体験型・チャレンジ型メニューを充実させる
- ・小中学生を主役とした地区行事を開催する
- ・地域寺子屋により多くの中学生が公民館に集い交流する
- ・地域住民に力を披露する機会を設ける（合唱、吹奏楽、ウクレレ等）
- ・青少年育成団体のマンパワーを活かして子どもたちを育てる



④. 地域の歴史や文化を大切に守るまち

- ・公民館の講座や地域行事を通して、地域の歴史や文化に対する興味を高める
- ・古文書の解説などから、地域の歴史を知る
- ・歴史的資産を大切に保存し、次世代に受け継ぐ
- ・石造物・石仏等を大切に保存し、行事等に活用する
- ・重要無形文化財等を大切に保存し、次世代に継承する
(下長碓町操翁式三番叟、駒形町祇園祭など)
- ・健康ウォーキングコース沿いの文化財を、地域住民に広める
- ・地域への誇りや愛着を高める



⑤. 地域ブランドを活かして郷土愛を培うまち

- ・幅広い世代を対象に、ウクレレの魅力との出会いを提供する
- ・大島梨を活用し、地域の元気につなげる
- ・地域に根ざした行事食を掘り起こし、郷土愛を醸成する
- ・地元企業と連携し、新たな地域ブランドの創出を目指す



③. 地域とのつながりの中で元気な生活を築き始めるまち

- ・自主学習グループを支援して、住民のつながりの輪を広げる
- ・公民館講座や自主学習活動を通じて、住民の居場所づくりや仲間づくりを推進し、互助・互助の意識を高める
- ・老人クラブ連合会の協力により、若さを保つ秘訣を地域に伝える
- ・健康ウォーキングマップを活用して健康増進につなげる
- ・保健推進員や食生活改善推進員と連携し、保健衛生の向上とともに健康寿命の延伸にもつなげる



地域づくり協議会と協働した取り組み

- ◆ 地域づくり推進大会の開催、地域づくりニュースの発行
(総務広報部会)
- ◆ LPガスバルブを活用した防災炊き出し訓練、防災講座の開催、救急救命訓練等の実施
(安心安全部会)
- ◆ 健康ウォーキング大会、健康づくり講座の開催
(健康づくり部会)
- ◆ 世代間交流ボートリング大会、家族料理教室開催
(世代間交流部会)

⑥. 地域の豊かな人材を活かして住民同士がつながるまち

- ・共愛学園前橋国際大学と連携して、地域課題の解決に貢献する
- ・自主学習グループの人材を活用して、互いに学びを高める場を提供する
- ・学術的な機関による出前講座を活用して、住民の学習ニーズに応える
- ・地域で活躍する歴史研究家や生涯学習要員等の協力を得て、学習意欲を向上させ郷土愛の醸成につなげる
- ・自主学習グループでの学びあいの中で、新たな人材の発掘につなげる
- ・スポーツを通して住民同士がつながり、健康の増進につなげる
- ・青少年育成団体が主体的に子どもたちと関わり、健全育成に貢献する



永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン2019(仕掛ける・つなぐ編)

公民館という仕掛け(運営方針)

- (1) 公民館は、住民にとつての居場所であり、交流拠点でもあるので、気軽につどい、共に学び、つながる場を提供し、地域社会に密着した公民館運営を推進する。
- (2) 地域団体や関係機関との連携・協力のもと、地域の今日的課題や住民ニーズに沿った講座を開催し、その成果を地域に還元することができる人材を輩出する。
- (3) 地域の資源(地域ブランド)を生かして、地域の連帯感や郷土愛の醸成を図ることにより、住んで良かったと思える、未永く明るい(永明)公民館づくりを行う。

永明地区の
願い・思い



永明公民館
分野別の仕掛け(重点施策)

① みんなで子育て
をすまちは子ども
もがすくすく育つ
まち

② 青少年が明るく元
気に育つまち

③ 地域とのつながり
の中で元気な生活
を楽しめるまち

④ 地域の歴史や文
化を大切に守るま
ち

⑤ 地域のブランドを
活かして郷土愛を
培うまち

⑥ 地域の豊かな人
材を活かして住民
同士がつながるま
ち

子育て・親子支援に関する仕掛け

- ・孤立しがちな母親への学習機会を提供
- ・親子のふれあいを取り入れた子育て・親子支援事業の実施
- ・父親の子育てへの参画を促進する講座の実施
- ・地域で子育てを応援する取り組みの推進

【連携・協力】子育て支援課、共愛学園前橋国際大学、保健推進員、民生児童委員、ボランティア団体、食生活改善推進員、その他地域団体 等

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け(より良い生活づくり)

- ・地域福祉の充実、人権が尊重される社会を目指す、幅広い世代に対応した講座の開催
- ・青少年体験・チャレンジ活動として、子どもたちの好奇心や学習ニーズに対応した体験型教室の開催
- ・青年・若者など公民館活動に縁の少なかった住民を呼び込む事業や健康づくり事業等の実施
- ・住民一般には、健康寿命の延伸を目指した事業実施、地域社会に寄り添った環境づくり、生活支援が必要とされる住民や障害者に対する見守りなど共助による地域福祉の推進

【連携・協力】老人クラブ連合会、共愛学園前橋国際大学、公民館学習グループ、保健推進員会、青少年育成団体、体育関係団体、市社協、地域包括支援センター、その他地域団体

交流・地域ふれあいに对应する仕掛け(地域資源の活用)

- ・地域の文化遺産の掘り起こしによる事業の企画
- ・地域に埋もれた古文書や石造物等の歴史的資産の発掘と活用
- ・投資の産物である地域ブランド(ウクレレや大島梨等)を活かした事業の企画

【連携・協力】地域づくり協議会、共愛学園前橋国際大学、ウクレレ製造会社、公民館学習グループ、果樹組合、JA、酒造会社、その他地域団体 等

地域の人材をつなぐ仕掛け(自主学習グループ・奨励員活動支援等)

- ・高等教育機関との連携：多様な教育資産を有する共愛学園前橋国際大学と多方面において連携し、その知的財産を地域住民に還元し、地域に根ざした人材育成につなげる。
- ・知の循環：生涯学習奨励員や自主学習グループへの活動支援とともに、近隣の教育機関との連携協力による公民館講座の運営側に参画を促し、知の循環につなげる。
- ・地域づくり協議会との共催：地域づくり協議会の活動(安心安全、健康づくり、世代間交流)と、公民館事業との連携のあり方を研究し、地域づくりの担い手育成につなげる。
- ・様々な地域団体との連携：防災、防犯、見守り等の実施により、安全なまちづくりを目指す。

仕掛けのイメージ

